

交通誘導警備業務（2級）実技訓練運用マニュアル No.2

科 目	○ 人又は車両に対する合図その他の方法による、人又は車両の誘導	使用機材	セフティコーン、コーンリング・各 50 本 セフティコーンカバー(3種類)合計 20 枚 コーンバー・・・・・・・・・・ 30 本 トラロープ (50m)・・・・・・・・ 5 本 トランシーバ・・・・・・・・・・ 10 台 保安柵・・・・・・・・・・ 10 台
実施訓練細目	○ 素手による工事車両の後進誘導要領	実施場所	屋外又は屋内
		時間配分	50 分
		受講者数	50 名
教本参照ページ		講 師	責任講師—1 名、講師—4 名

内 容

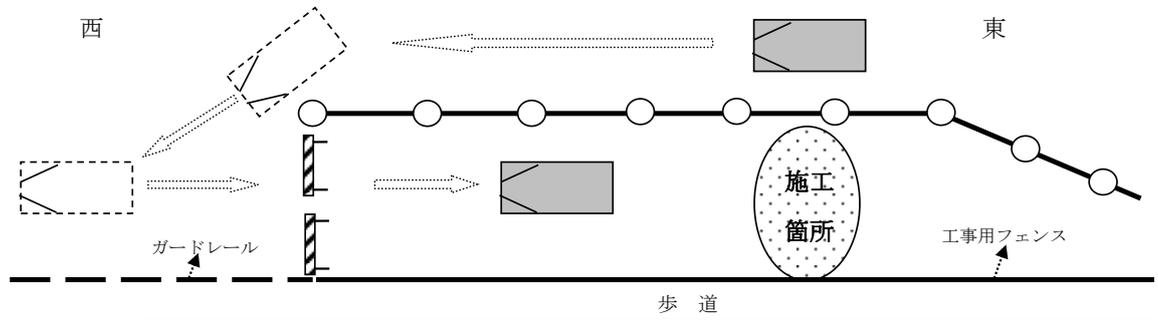
訓練目的

工事現場においての、警笛を使用した素手による後進誘導要領を習得させる。

状況設定

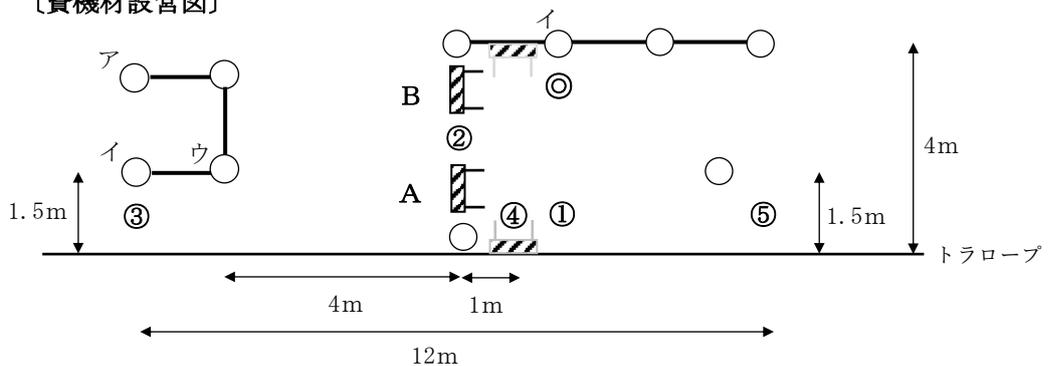
1 工事現場及び周辺の想定は、「片側 1 車線の道路において交互通行を行なっているときに、東側から工事車両が到着し、工事規制帯の終点から施工箇所手前まで後進で入庫する。」である。

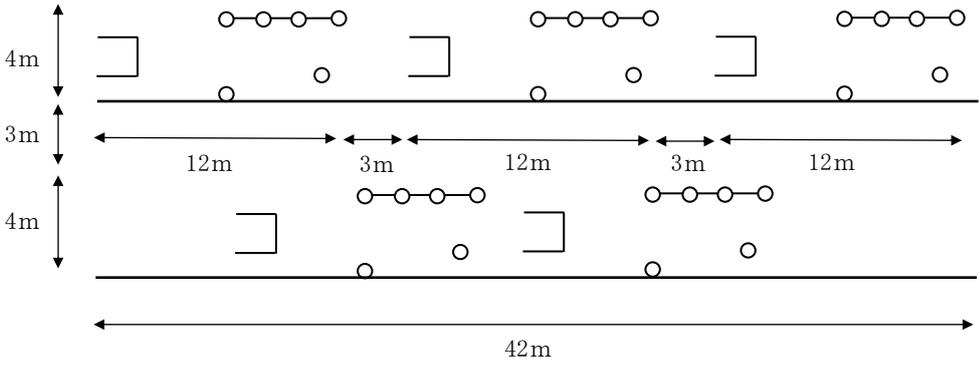
〔状況想定図〕

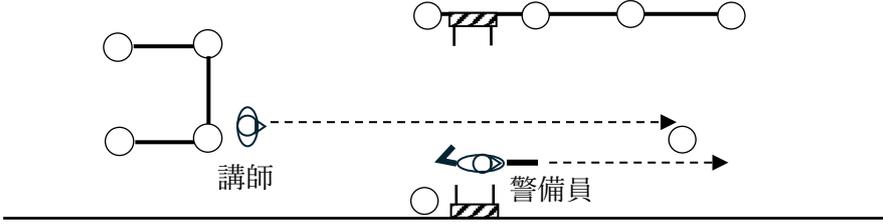


2 個別訓練における 1 面当たりの資機材設営は、以下の図のとおりである。(◎は講師、ア～ウは次項に示すセフティコーンカバーの種類を示す。)

〔資機材設営図〕



	<p>「資機材設営図」中のセフティコーンカバーの種類 (イの「助手席」は2枚)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>ア</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>イ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ウ</p> </div> </div>
	<p>3 個別訓練会場の設営は、会場の広さ等を勘案して行う。例を示すと下図のとおりである。</p> <p style="text-align: center;">〔個別訓練設営図〕</p>  <p>4 集合訓練を行うため、個別訓練会場のほかに、受講者全員が集合できる集合訓練会場が必要となる。</p>	
<p>実施要領</p>	<p>1 <時間配分> 50分 (内訳: 解説、模範演技、集合訓練-20分、個別訓練-3分×10回=30分)</p> <p>2 責任講師は、受講者を集合させ、「後進誘導要領」の実技訓練を実施する。</p> <p>3 責任講師は拡声器を使用して、以下の説明を行う。</p> <p style="padding-left: 20px;">「警備員が工事車両到着の連絡を受け、到着間際に閉鎖されているゲートを開放し、工事車両が到着後に素手により後進誘導を行う。このときの出入口付近における誘導要領を訓練する。」</p> <p>4 責任講師は模範演技見学のため、受講生の前列を座らせる。</p> <p>5 講師は後進誘導要領の模範演技を行う。</p> <p>6 模範演技担当講師はあらかじめトランシーバを装着し、開始位置①につく。</p> <p>7 責任講師は、拡声器を用いて受講者に演技の解説を行う。</p> <p style="padding-left: 20px;">号令: 「只今から、後進誘導要領の模範演技を実施する。始め。」</p> <p>(1) 警備員 (講師) は、①の位置で講師に正対し、「実施します。」と申告する。</p> <p>(2) 警備員は、自然な姿勢で左右の警戒を行う。</p> <p>(3) 講師は、トランシーバで警備員に対し、工事車両が到着した旨の連絡を入れる。</p> <p style="padding-left: 20px;">講 師: 「間もなく工事車両が到着、誘導願います、どうぞ。」</p> <p style="padding-left: 20px;">警備員: 「工事車両誘導の件、了解。」と復唱する。</p> <p>(4) 警備員は、左向けを行い、駆け足で出入口の内側から (規制帯内から体が出ないように) 保安柵Aを開放、続いてBを開放し、規制内の内側の両端にそれぞれ撤去する。</p> <p>(5) 次に、出入口の中央②へ戻り、出入口と停止位置間 (工事現場内) における道路の安全確認をし、中央付近を指差して、「後方よし。」と呼称する。(ここで工事車両が③の位置に到着することを想定。)</p> <p>(6) 右向けを行い、駆け足で車道の左側端を通り工事車両の助手席横③の位置まで移動し、右向</p>	

	<p>け右を行い、運転手に対し「後進誘導を行います。」と申告する。</p> <p>(7) 右向け右をし、駆け足で車両の後方5メートルの④の位置に移動する。</p> <p>(8) 左向け左を行い、体を工事車両に平行させる。</p> <p>(9) 警笛をくわえ、後方の安全を確認しつつ、右腕を肩の高さに水平に横に上げ（右手のひらを正面に向け）、続いて車両を注視し、左腕を肩の高さに水平に上げ（左手のひらは真上に向け）、左手を肩の高さから大きく半円を描くように顔の前面（鼻の位置程度）まで前腕のみで振り寄せ、戻すときは逆の動作を繰り返す。</p> <p>(10) 誘導中は毎回（最低でも2回の誘導動作に1回以上は）、顔を左右に向け安全確認を行い、両足は転倒しないように自然に歩行する。</p> <p>(11) 警笛は、左前腕の振りに合わせて引き寄せるときに「ピーー」と吹く。</p> <p>(12) 警備員は⑤の位置まで誘導しながら移動し、工事車両が1メートル手前のセフティコーンで停止するように基本の姿勢になって方向変換を行い車両に正対する。</p> <p>※ 講師は、自身が車両左後部を示す目印として警備員の誘導に従って移動し、警備員による停止の合図に従い止まること（下図「誘導中の講師位置」参照）。</p> <p>(13) 警備員は基本の姿勢から手のひらが前方に向くように右腕を下から上へ前を通して垂直に上げ、工事車両を注視しながら、左右に約30センチメートルの振り幅で振り、右腕を肩の高さに水平まで下ろす。</p> <p>(14) 警笛は、予告の合図の状態から吹き始め、停止の合図が完了すると同時に吹き終わるように約3秒間「ピー、ピッ」と吹鳴する。</p> <p>(15) 警備員は右腕を下ろし警笛をはずし、助手席横①まで駆け足で移動し、右向け右を行い、運転手に対し、「誘導終了しました。」と申告する。</p> <p>(16) 警備員は左向け左を行い、駆け足で出入口の保安柵Bを閉鎖し、続いてAを閉鎖、④の位置で出入口中央を指差して「閉鎖よし。」と呼称する。</p> <p>(17) 警備員は大きく右向け右を行い、駆け足で①に戻り左向け左を行い、講師に正対し、「終了しました。」と申告する。</p> <p>(18) 講師は、「やめ。」の号令をかける。</p> <p>8 責任講師は、模範演技の解説後、全習法→分習法→全習法による集合訓練を行い、個別訓練に順次送り出す。</p> <p>9 他の講師は、個別訓練会場に到着した受講者に対し、適宜誤りを具体的に指導し、錬度の向上に努め、修了者は、再び集合訓練会場へ戻す。</p> <p>10 責任講師は、一定時間経過後、受講者を集合させ、全体の注意指導を行い、実技訓練を終了する。</p>
<p>誘導中の講師位置</p>	<p>車両左後部の位置から、警備員の誘導に従って停止位置まで移動する。</p> 

指導の
ポイント

責任講師は、手順に基づき訓練を行い、受講者が後進誘導要領を習得した時点で、訓練を終了する。

- 1 「工事車両誘導の件、了解。」と復唱したか。
- 2 駆け足で②へ移動し、出入口の内側から保安柵Aを開放、続いてBを開放し、規制内の内側の両端にそれぞれ撤去したか。
- 3 出入口の中央②へ戻り、出入口と停止位置間（工事現場内）における道路の安全確認をし、中央付近を指差して、「後方よし。」と呼称したか。
- 4 車道の左側端を通り助手席横③まで移動し、運転手に対して「後進誘導を行います。」と申告したか。
- 5 駆け足で車両の後方5メートルの④の位置へ移動し、体を工事車両に平行させ警笛をくわえたか。
- 6 後方の安全を確認しつつ、右腕を肩の高さに水平に横に上げ、右手のひらを正面に向け、車両を注視し、左腕を肩の高さに水平に上げ、左手のひらを真上に向け、肩の高さから大きく半円を描くように顔の前面位置まで（鼻の位置程度まで）前腕のみで振り寄せ、戻すときは逆の動作を繰り返したか。
- 7 誘導中は、2回の誘導動作に1回以上は、顔を左右に向け安全確認を行っているか。
- 8 警笛は、左前腕の振りに合わせて引き寄せるときに「ピー」と吹いているか。
- 9 停止の合図は、基本の姿勢から手のひらが前方に向くように右腕を下から上へ前を通って垂直に上げ、工事車両を注視しながら左右に約30センチメートルの振り幅で振り、右腕を肩の高さに水平まで下ろしているか。
- 10 警笛は、予告の合図の状態から吹き始め、停止の合図が完了すると同時に吹き終わるように約3秒間「ピー、ピッ」と吹鳴しているか。
- 11 工事車両の助手席横①まで駆け足で移動し、右向け右を行い、運転手に対して「誘導終了しました。」と申告しているか。
- 12 駆け足で出入口の保安柵Bを閉鎖し、続いてAを閉鎖、④の位置で出入口中央を指差して「閉鎖よし。」と呼称しているか。